

神和台

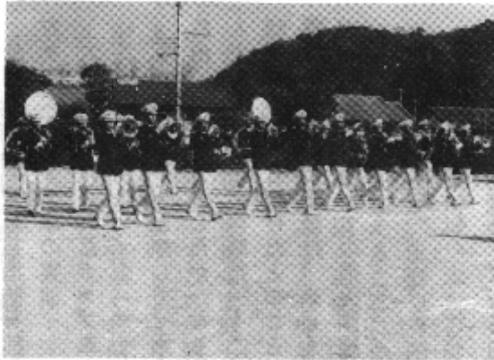
平成元年 12.25

第 32 号

「防災特集」

自主防災のつどい

神和台自主防災協議会が垂水消防署の指導のもとに、今年三月五日(日)結成をみ、組織化されたことは既にご承知の通りであります。このたびは火災の多発するシーズン控え、第一回目の自主防災の集いを十二月三日(日)開催し、子供さんを含む多数の参加をいただきました。ここに当日の様様をご報告し、もって今後の防災対策の参考にして頂ければと存じます。



— 冬空に吹奏する消防音楽隊 —



— 神和台チアガールも応援出演 —

◎師走とは思えない暖かい、澄みきった青空の下、神和台北公園では、消防音楽隊の軽快なリズム、ステップで「自主防災の集い」がオープンしました。音楽隊の赤いブレザーに白いズボンの出で立ちは颯爽として印象ぶかく観衆の目を引くものでした。つづいて、神和台のチアガールが「地球をさがして」の曲に合わせて、公園内を行進。その後「湾岸太陽族」、「夢の中へ」の曲に乗せて、ボンボンダンス。



— さあーよく聞いて下さいネー —

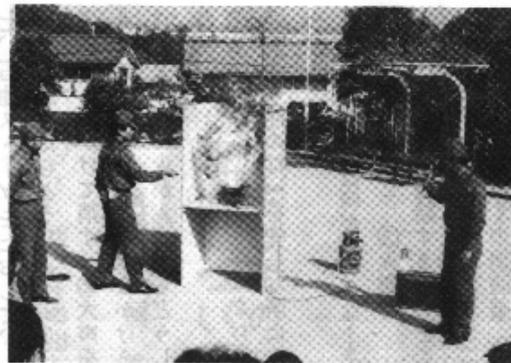
井上 繁垂水消防署長、森田卓名谷連合自治会長、森下高行自主防会長の挨拶、そしていよいよアトラクション。

▲まずは、天ぷら油による火災と消火の実験。

- 一、なべのふたをする (○)
 - 一、水をかける (×) 絶対にしてはいけない。
 - 一、ぬれタオルをかける (○)
 - 一、マヨネーズを入れる (○) (容器ごと。)
- ※ どんな場合でも、必ずガスは止めること。



▲天ぷらをあげているとき、気を付けること。
電話・来客・外の用事
※ こういう場合は必ず火を消す習慣を！



— 天ぷら油の発火実験です —

「知っておいび」

▲油の温度。
コンロにかけて、七分↓一八〇度(天ぷらがカラッとあがる温度。)
八分↓二〇〇度(白煙) 十二分↓二五〇度(かなりの煙) 十四分↓三二〇度(引火点) 二十一分↓三四〇度(発火点)

▲つづいて、公園の中央にはしこ車登場
はしこは、十四〜十五メートル伸

び、四〜五階の建物に適應できること。

子供が一人、三人と乗り、高い所からの眺めを楽しんでいました。
・こわさは感じなかった。

・ゆっくり上がるので、ブレはないしとても快適だった。と乗った方の感想でした。

▲本部席の近くでは、一一九番の通報措置「火事です。」

ところ ○〇区○○町○○番〇〇号 氏名 ○〇〇〇〇〇〇 目標神和台北公園の北側 電話番号 ○〇〇局○○〇〇番

※ 一一九番は消防本部(中央区)にかかります。○○区とはっきり云いましょう。何人かの大人、子供が通報練習。練習の時でもなかなか上手に云えません。もしかの時は、落ち着いて、はっきり云いましょう。



“ 119番通報は誰でもやれるよー ”

バス旅行。「区老連」主催の研修会、講演会等に参加し、教養の向上に努めます。又時候が良くなれば、有志で公園、公道の除草、清掃を実施します。尚不幸にして長期病床に伏す会員のお見舞も欠かすこと

謡曲 (宝生流)

お稽古案内

が出来ません。尚々本会に未加入の方々の入会を、心待ちにしております。気軽に声をかけて下さい。

平成二年三月
神和台クラブ会長 塩崎岩雄

神和台の皆様お元気でいらっしゃいますか。急に春めいて参りましたね。私は(小林一男)長年謡曲を習っています。宝生流は五流能の一流儀です。謡曲と申しますと古風で一般の方にはなじめない様な気がすると思いますが、教養を高める意味と、声をお腹から出す事は健康の一要素でもあります。老人会の方にもお勧めしてはとの事で一筆走らせて頂きます。古典芸能の一端として挑戦してみても如何ですか。曲の中には須磨、一の谷、明石、淡路を舞台にした曲も沢山ございます。午前中、一時間程、お楽しみになっては如何ですか。本も今は値段が高いですから始めはコピーして、紙代だけで

ご希望の方は三丁目二一六 小林一男(七九一一二二三)までご連絡下さい。

場所 集会所
お稽古日 第二、第四火曜日
時間 午前九時三十分〜十一時三十分



「ハイ、とんぼさんヨー」音楽が流れると子供たちはとんぼになったり、おうまさんやアヒルさんになったり、リズムに合わせて上手に動きます。毎週火曜日、十時を過ぎると集会所にちびっ子たちのにぎやかな声がひびきます。「みんなで楽しくあそぼう」と幼稚園入園前の子どもたちを対象に、子育て小組「ちびっ子クラブ」をはじめ一年半。初めの頃お母さんの後ろにかくれて泣いていた子ども、名前を呼ばれてもなかなか「ハイ」が云えなかった子ども、今では信じられないくらい成長ぶり。た

子育て小組

「ちびっ子クラブ」

とえ週一回でもこの積み重ねの成果は大きいね、とお母さんたちは満足気。



広い集会所で思い切りリズムで体を動かし、そのあと絵本の読みかせや集団あそび、そしてさやかなおやつ、また天気の良い日は少し遠くまでおさんぽ、季節の行事や誕生会もと入れ、午前中がアツという間に終わってしまいます。

子どもたちにもお母さんたちにも楽しいひととき、こんな「ちびっ子クラブ」にもっとたくさんの方々のご参加をお待ちしています。いっぱいいっぱいお友だちをつくりましょう!!

〈連絡先七九一一二九八〉
二丁目五一六 本田トシ子



俳句と短歌

福寿草 初弾きの音も冴え渡る
初詣で 古木に偲ぶ院の庄
寄り添いて 雪に埋まる墓碑二つ
藪野信枝

段飾り 手製の雛が 座を占める
枝垂梅 風の吹くまま揺れ返えず
砂吐かす アサリ活き活き水鉄砲
吉岡カヅヨ

東風ひざりかぜに乗り汐の香うまし須磨の浦
春眠はるねの中に入り来る初音鳥
夜もすがら妻恋う猫の姦むじましく
塩崎岩雄

水みづ温ぬるむ堀の白鳥羽づくろい
春雨はるあめに めれて車の友が呼ぶ
庭石にわいしのくぼみのあとや草萌ゆる
塩崎吟子

春を待つわがもの顔に芽をふいて
ひなまつり白酒呑んでほを染めて
足立利子

松の内絶える間の無し客の足
師の君の俳画で届く年賀状
積雪や雨に氷って足取られ
中村美佐

しだれ梅来客待ちつ花満開
鶯や来て鳴く庭の梅の枝
沈丁花こぼれ花堂にそつとだき
速水絹子



「短歌」

そのかみの聖武帝よりの灯籠とて
見上げてしばし遠つ舟を憶う
(藤井寺にて)

病窓を日々眺めいし去年の春
花をめでもるも叶ふことは

早春賦歌いつ待ちしこの日頃
今朝耳に入るうれし初音を
小林信子

華やかに納采すみしプリンセス
麗しき笑顔いついつまでも
藪野信枝

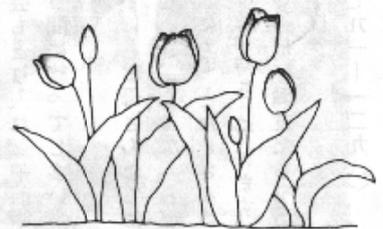
神和台文庫

文庫代表 河野和子



— 貯めた！ 子供本千七百冊！ —

自治会のご援助のもと、神和台文庫は十周年を迎えることができました。ありがとうございます。その記念行事に、七月一日小玉野栖子先生をお迎えし講演会を開催しました。またこれを機に書棚を購入していただき階段下段ボール箱で眠っていた本が生き生きし、子供たちの手から手へと渡っており



ます。大人のコーナーも二階に設け、これは寄贈だけで十年間に集った本ばかりなので多種多様です。来年度からは予算を少しいただいてベストセラーの何冊かでも購入していただけたらなあ……と思っ
ています。神和台文庫が神戸新聞に掲載されたので、他区より本の寄贈申込みがあり嬉しい悲鳴をおげたこともありました。

二月十七日(土)、積水ハウス、住まいの図書館より絵本五十六冊寄贈していただきました。

「MOTHER GOOSE」「A WINTER PLACE」……と今までとちがった絵本があります。

お父さん、お母さん、お子さん達、ご家族そろって神和台文庫へ一度お運び下さい。

後記

暦によれば啓蟄(冬ごもりの虫が這い出る)は三月六日とあるから、もう暖いのも道理だ。三寒四温という時季か。

道路計画がなくなった神和台を展望しようと、小東山に上ってみた。アレッ！越してきたときは山ふところにあつた我が家々は、今や白日のもとにさらされて、——もう、もぐらもおけらも眠っていられたものではない。

大阪鶴見緑地では、あたかも「国際花と緑の博覧会」が開かれようとしている。テーマに、花と緑を通じ「自然と人間の共生」をめざすという。神和台のホモサピエンスとしても、このごろ矢鱈と緑と土が恋しくてならないのだが。

受験期や少年犬を愛しめる

藤田湘子

編集部

